

命のこは人

島原市立第二小学校三五年

川村 明十紫

ぼくは、生まれた時の体重が一八四二グラム、ぶたごのお尻ち^ヤ人が二〇七〇グラムの少し小さい赤ち^ヤんでした。生まれてすぐには、島原の病院から大村の病院へ救急車で運ばれて、小児治療室で三週間入院して、退院して、五才までは、年に一回大村の病院へ行っていました。小さく生まれたぼくたちです。

が、今では、元気にサッカーをしています。なぜ、^クすくすく健康に育ったのかな^クとお母さんに聞くと、^クお米が大好きだからかな^クと言われた事があります。

ぼくの家は、お米をスーパーで買った事がありません。ひいおばあち^ヤんとおじいち^ヤ人の家が田んぼでお米を作っていて、とてもおいしいごはんを毎日食べられます。秋になると毎年、新米をもらいます。つやつやもちもちして、おかずがいらないくらいいと

っても甘いです。ぼくは、毎年、新米を食べることを楽しみにしています。

ぼくは、小さいころから、お母さんに言われて、いる事があります。「茶わんについている、ごはんは、一つぶも残さず食べるようにね。」なぜかたずねると「お米はもちろん、野菜も、農業のお仕事をしている人たちが、大切に育てて作ったから」と言われました。ありがとうの気持ちを持っていただきます。

ぼくの家は朝ごはんは、一週間の内、六日はごはんです。パンも好きですが、とくにサッカーの試合の時は、お米を食べないとかが出ないよ」と言われます。毎日、お米をたくさん食べて、元気に学校やサッカーへ行きます。

今、毎日のように暑い日が続いています。熱中症予防に、塩おむすびは、すごくいいえうです。水分、栄養、塩分を含んでいるからです。試合の時も、持って行って食べています。

ぼくは、たきこみごはん、たこごはん、赤
はんも好きですが、白ごはんが一番好きで
す。お米から、たくさんの栄養と元気をもら
って感謝して日々命を大切にしていこうと思
います。